

重 要

「授業アンケート FURIKA」
教員用マニュアル

— 2020 年度後期 —

福岡大学
教育開発支援機構

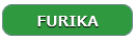
目 次

I. 2020 年度の主な変更点	P1
II. 授業アンケート FURIKA 設問項目	P2
III. 実施方法	P3~9
IV. フィードバックの活用方法と留意事項	P10~16

<参 考>

- ・ 学生メニュー画面イメージ P17~20
- ・ 学生用マニュアル -回答方法と留意事項- P21~22
※学生は、FU ポータル「FURIKA」のメニューから閲覧可能です。

当資料の電子版および Q&A は、以下に保管しております。

- ◆FU ポータル 「FURIKA」 ()メニュー
 - 教員用マニュアル (実施方法)
 - FURIKA に関する Q&A

I . 2020 年度の主な変更点

FURIKA の 2019 年度からの主な変更点は以下になります。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、後期授業の大半が遠隔授業の形態で実施されたことに伴う変更点が中心となっています。

変更点

1

実施時期・手順について

詳細は p3 へ

従来 FURIKA は、第 14・15 回目の授業期間（12 月上旬～試験開始前）に実施をお願いしていました。今年度については、授業期間が延長されたこと、定期試験が中止されたこと等を考慮し、実施期間を 12 月 1 日（火）～1 月 31 日（日）とします。

また、遠隔授業実施に伴い、実施手順についても変更しました。

変更点

2

設問項目の追加について

詳細は p2 へ

今年度、多くの授業は遠隔授業の形態で実施されています。遠隔授業の運営における改善可能な要素について、3 つの設問項目を追加しました。

①出席状況

- ・「この授業には何回出席（参加）しましたか？」

②到達度

- ・「以下に挙げる項目のうち、あなたがこの授業の到達目標に到達するうえで、良かったことを選んでください。」
- ・「以下に挙げる項目のうち、あなたがこの授業の到達目標に到達するうえで、改善が望まれることを選んでください。」

※①出席状況は、通常であれば各教室に設置されている「出席調査用カードセンサー」のデータから抽出していますが、遠隔授業実施に伴い、今年度については設問を追加し、学生自身が回答する形にしています。

変更点

3

フィードバックの時期について

フィードバックについては、2 月上旬以降を予定しています。詳細については、改めて FU ポータルおよびメールにてお知らせいたします。

II. 授業アンケート FURIKA 設問項目

NEW

①出席状況：

この授業には何回出席（参加）しましたか？

※出席(参加)回数が明確にカウントできない場合には、授業何回分の出席に相当するかをおおよその判断で回答してください。

(回答) 実数を選択 (0~7/0~15/0~30) ※科目に応じて自動表示

②学習時間：

一回の授業に対してどれくらい学習(予習復習、資料の収集・閲覧を含む)しましたか？授業前後に友人と内容について話したり、試験勉強や課題のレポートを書いた時間も含まれます。

(回答) 実数を分単位で選択 (0~180分)

③到達度：

③-1) この授業のシラバスには、以下の到達目標が設定されています。あなたはこの授業をうけて、各到達目標にどの程度到達できたと思いますか？

(回答) (1: 全くできなかった、2: あまりできなかった、3: どちらともいえない、4: ややできた、5: 十分にできた)

NEW

③-2) 1回でも遠隔授業の形態で受講した授業科目について、お尋ねします。以下に挙げる項目のうち、あなたがこの授業の到達目標に到達するうえで、良かったことを選んで下さい。(複数回答可)

ただし、本授業を全て対面のみで受講した場合は、「12: 授業全回を対面で受講した」を選択してください。

(回答) (1: 各回の授業の実施方法 (リアルタイム配信型/オンデマンド型/教材配信型)、2: 授業で用いられた ICT ツール (FU_box、Webex など)、3: 授業の進む速さ、4: 教材・資料の分かりやすさ、5: 教材・資料の分量、6: 課題 (レポート等) の難易度、7: 課題 (レポート等) の分量、8: 教員とのコミュニケーション、9: 学生間のコミュニケーション、10: その他、11: 特になし、12: 授業全回を対面で受講した)

⇒「10.その他」を選んだ方は内容を記述して下さい。

(回答) 自由記述

NEW

③-3) 1回でも遠隔授業の形態で受講した授業科目について、お尋ねします。以下に挙げる項目のうち、あなたがこの授業の到達目標に到達するうえで、改善が望まれることを選んで下さい。(複数回答可)

ただし、本授業を全て対面のみで受講した場合は、「12: 授業全回を対面で受講した」を選択してください。

(回答) (1: 各回の授業の実施方法 (リアルタイム配信型/オンデマンド型/教材配信型)、2: 授業で用いられた ICT ツール (FU_box、Webex など)、3: 授業の進む速さ、4: 教材・資料の分かりやすさ、5: 教材・資料の分量、6: 課題 (レポート等) の難易度、7: 課題 (レポート等) の分量、8: 教員とのコミュニケーション、9: 学生間のコミュニケーション、10: その他、11: 特になし、12: 授業全回を対面で受講した)

⇒「10.その他」を選んだ方は内容を記述して下さい。

(回答) 自由記述

④積極性：

この授業に対してどの程度主体的・積極的に取り組むことができましたか？(前向きな姿勢での出席、予習復習、課題の提出、授業での発言、グループワークでの活動への参加、等)

(回答) (1: 全くできなかった、2: あまりできなかった、3: どちらともいえない、4: ややできた、5: 十分にできた)

⑤理解度：

この授業の内容はどの程度理解できましたか？

(回答) (1: 全くできなかった、2: あまりできなかった、3: どちらともいえない、4: ややできた、5: 十分にできた)

⑥学んだこと：

この授業で特にあなたが学んだことは何でしょうか。

(回答) 自由記述

Ⅲ. 実施方法と留意事項

- ◆ アンケート実施期間は、令和2年12月1日（火）～令和3年1月31日（日）となります。実施期間内であれば、学生はいつでも回答することが可能です。
- ◆ 回答率向上のため、できる限り第14回目もしくは第15回目の授業時間内に実施してください。
- ◆ FURIKAは、回答に5～10分程度を要します。
- ◆ アンケートの趣旨や実施に伴う補足情報については、FUポータル内「FURIKAに関するQ&A」をご参照ください。

1 アンケート実施手順

- ◆ FUポータル「お知らせ」を通じて、授業アンケートの実施について、12月1日（火）に全学生へ一斉にアナウンスする予定です（文面は以下のとおり）。

<参考：FUポータル「お知らせ」に掲載予定の文面>

学生のみなさん

令和2年度後期授業アンケート FURIKA（フリカ）が12月1日（火）よりスタートしました。FURIKAは、「自分自身が何を学んだか」について振り返ってもらうアンケートです。回答方法等の詳細については、FUポータル上部の緑色の「FURIKA」ボタンより確認できます。事前に確認し、アンケートへ回答してください。

<留意事項>

- ・ FURIKAはすべての授業で実施されます。
- ・ 回答時間は5～10分程度です。
- ・ 回答データは学籍番号を暗号化したうえで集計するため、担当教員を含め大学関係者が回答した学生を特定することはできません。また、回答によって成績評価に影響が出ることや皆さんが不利になることはありません。
- ・ 回答した授業については、自分の学びの傾向や他の学生全体との比較を含めた回答結果が返却されます（4年次生等：令和3年2月13日（土）在学学生：令和3年3月16日（火））。この結果は今後の学習計画をたてるうえで参考になりますので、みなさん自身のためにぜひ回答してください。

<実施期間>

令和2年月12月1日（火）～令和3年1月31日（日）

※実施期間中はいつでも回答できますが、授業担当教員から回答のタイミングについて指示がある場合は、その指示に従ってください。

<FURIKAへのログイン方法>

FUポータルにログインし、上部右端の緑色の「FURIKA」ボタンを選択してください。

※セキュリティの関係上、ヤフーアプリからは、FURIKAにアクセスできません。推奨ブラウザ（インターネットエクスプローラ、Safari、Google Chrome、Firefoxなどのブラウザ）からログインしてください。

<令和2年度後期マニュアル（PDF）>

<https://fukuoka-u.box.com/s/c1obyjy45niyrn6w7xi4wjfbmf2b3w1r>

<【参考】令和2年度前期マニュアル動画>

<https://fukuoka-u.box.com/s/701qmvvyg42o57izdi221tl8upt3u2fn>

<FURIKAについての問い合わせ先>

教育開発支援機構（A棟地下1階）

E-mail: furika@ml.fukuoka-u.ac.jp

(1)アンケートの実施

授業の実施方法に応じて、①・②どちらかの対応をお願いします。

①授業の中で学生にアナウンスできる場合（リアルタイム配信型の授業など）

(2)当日（アンケート実施直前）

- ◆ 授業の中で、次週に授業アンケートを行うことを学生にアナウンスしてください。



『令和2年度後期授業アンケート FURIKA（フリカ）が12月1日（火）よりスタートしました。この授業については、次週の授業内で回答してもらいます。』

『FURIKA（フリカ）に初めて回答する方、回答方法がわからない方は、FUポータルの上部右端にある緑色の「FURIKA」にアクセスし、マニュアルや説明動画を事前に確認しておいてください。』

- ◆ 学生の授業の振り返りをより促し、適切な自己評価を行えるようにするという観点から、FURIKAでは、アンケート回答前に授業の総括を行っていただくようお願いしています。アンケート当日に授業の総括を行う場合、次のとおり、学生にアナウンスしてください。



『みなさんが授業の中で、何をどれだけ学んだかについてより適切に自己評価してもらうために、授業の総括を行います。できるだけ適切に回答してもらうためにも、それまではアンケートに回答しないようにしてください。』

(3)当日（アンケート実施中）

- ◆ 授業の中で、次週に授業アンケートを行うことを学生にアナウンスしてください。

1. この授業の狙いが何であったか
2. それぞれの到達目標の具体的な意味内容と到達基準
(何ができればその到達目標に達したといえるのか、等)
3. 各回の授業でどんなことを扱ったか（どの回のどの内容がどの到達目標に関するものであったか）

- ◆ 授業アンケートの実施の際には、次のとおり、学生にアナウンスしてください。



『FURIKAは、本学の授業とみなさんの学習をよりよくするために実施するものです。回答時間は、5分から10分程度です。回答した科目については、自分の学びの傾向や他の学生全体との比較を含めた回答結果が返却されます。この結果は今後の学習計画をたてるうえで参考になりますので、みなさん自身のためにぜひ回答してください。』

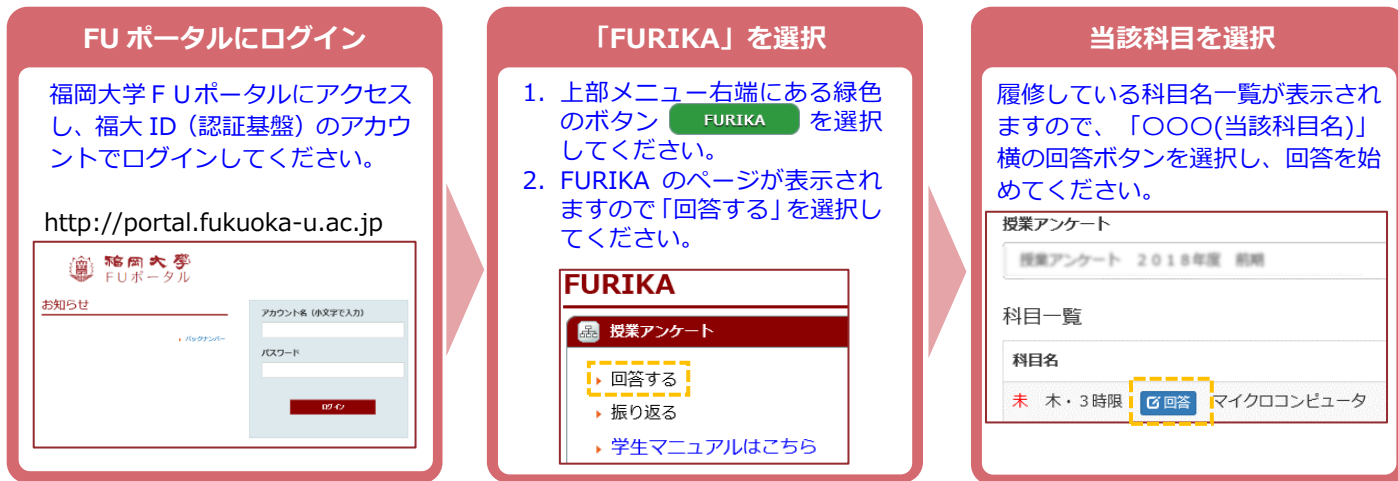
『回答データは出席状況等と関連付けて分析されますが、その際ログイン時の学籍情報は暗号化した上で集計されるため、担当教員（私）を含めた関係者が回答した学生を特定することはできません。成績評価には一切影響はなく、回答によってみなさんが不利になることはありません。』

『設問1の学習時間については、机に向かって直接的な予習復習をした時間だけでなく、授業の前後に友達と授業内容について話をしたり、気になったことをスマホで調べてみたり、試験や課題についてレポートを書いた時間など、広い意味で学習と言えるような時間も含めて回答してください。』

『設問5では、みなさんがこの授業で学んだことについて記述してください。なお、他の受講生の参考になるなど、担当教員が優れた内容だと評価した記述は、担当教員が公開できるようになっています。他の受講生の学習意欲を促すためにも、ぜひ積極的に記述してください。ただし、名前を含んだ記述は公開できませんので、名前は記述しないでください。』



『それでは、回答を始めます。』（続いて、次ページのフローに沿って FURIKA へのログイン方法を説明してください。）



- ◆ セキュリティの関係上、**ヤフーアプリからは、FURIKA にアクセスできません**。FURIKA にアクセスできない学生がいる場合、推奨ブラウザ (インターネットエクスプローラ、Safari、Google Chrome、Firefox などのブラウザ) から FU ポータルにログインするよう指示してください。

(4)当日 (アンケート実施後)

- ◆ 学生がアンケートに回答中は、以下の方法で学生の回答状況を確認してください。
- ◆ FURIKA は、回答することによって学生自身の成長につながるように設計しています。ぜひ学生の回答率の向上にご協力をお願いいたします。

回答状況確認方法



【当日 (アンケート実施後)】



『FURIKA の回答結果は、成績発表時に FURIKA にログインすることで確認できます。成績を確認する際、同時に FURIKA にもログインしてください。』

『FURIKA の回答結果には、他の学生の記述や、結果に関する教員からのコメントなど、参考になる内容が含まれています。自分の学習を振り返り、今後に役立ててください。』

『また、いま回答できなかった場合でも、試験開始前までは FURIKA への回答は可能です。自宅の PC などから回答しておいてください。なお、科目名を誤って選択し、回答してしまった場合は、A 棟地下 1 階の教育開発支援機構事務課まで問い合わせてください。』

⑧授業の中で学生にアナウンスできない場合（教材配信型の授業など）

- ◆ 原則として、授業が全て終了した後に回答してもらうよう、受講生にアナウンスしてください。（システム上は、アンケート実施期間であればいつでも回答できます。）受講生にアナウンスする際には、FUポータル「授業支援」-「授業管理」から一斉に連絡することが可能です。


例：「令和2年度の後期も授業アンケートを実施しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。この授業では、〇月〇日～1月31日までに回答してください。」

※参考：FURIKAのログイン方法（学生画面）

FUポータルにログイン

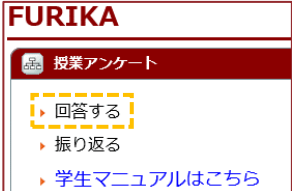
福岡大学FUポータルにアクセスし、福大ID（認証基盤）のアカウントでログインしてください。

<http://portal.fukuoka-u.ac.jp>




「FURIKA」を選択

3. 上部メニュー右端にある緑色のボタン **FURIKA** を選択してください。
4. FURIKAのページが表示されるので「回答する」を選択してください。



当該科目を選択

履修している科目名一覧が表示されるので、アンケートに回答する科目名横の回答ボタンを選択してください。



- ◆ セキュリティの関係上、**ヤフーアプリからは、FURIKAにアクセスできません**。FURIKAにアクセスできない学生がいる場合、推奨ブラウザ（インターネットエクスプローラ、Safari、Google Chrome、Firefoxなどのブラウザ）からFUポータルにログインするよう指示してください。


(2) 回答状況の確認

- ◆ アンケートの回答状況は、以下の方法で確認できます。
- ◆ 回答率が悪い場合には、FUポータル「授業支援」-「授業管理」を通じ、授業アンケートの回答について再度学生にアナウンスしてください。
- ◆ FURIKAは、回答することによって学生自身の成長につながるよう設計しています。ぜひ学生の回答率の向上にご協力をお願いいたします。

1. FUポータルにログイン


福岡大学FUポータルにアクセスし、福大ID（認証基盤）のアカウントでログインしてください。

<http://portal.fukuoka-u.ac.jp>

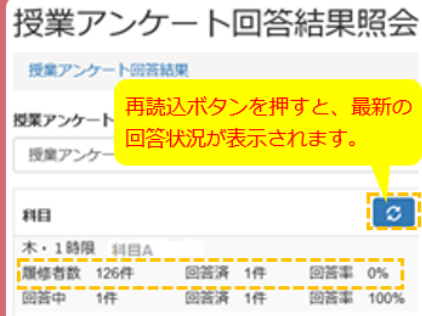


2. FURIKAにアクセス

- 1) 上部メニュー右端にある緑色のボタン **FURIKA** を選択してください。
- 2) 「授業アンケート回答状況・結果」を選択してください。



3. 回答状況を確認



(3) 回答結果の確認

- ◆ アンケート回答結果の先生方への公開は、**令和3年2月5日（金）**となります。
- ◆ 学生の回答結果を確認されましたら、以下の2点について実施をお願いします。
 - ① 記述回答の公開設定（設定方法の詳細についてはp.7 覧ください。）
 - ② 教員コメントの入力（入力方法の詳細についてはp.8 をご覧ください。）
- ◆ 学生の授業に対する理解やさらなる学習を促すために、ぜひ積極的な活用をお願いいたします。

2 記述回答の公開設定方法

設問項目6「この授業で特にあなたが学んだことは何でしょうか」(記述式設問)につきましては、担当教員が受講生の今後の学習の参考になると判断されたものについて、当該科目を受講し、FURIKAに回答した学生に公開することができます(不特定多数の学生に公開される訳ではありません)。

当該科目を受講した学生が、授業の内容や受講姿勢を振り返り、自分自身の授業の見方、受け方を相対化したりするなど、今後の学習姿勢の改善につながると判断できるものがございましたら、ぜひ積極的な公開をお願いいたします。

(1) 公開設定時期

令和2年度後期および通年授業科目(集中講義科目含む)については、2月5日(金)~2月12日(金)となります。

(2) 公開における留意点

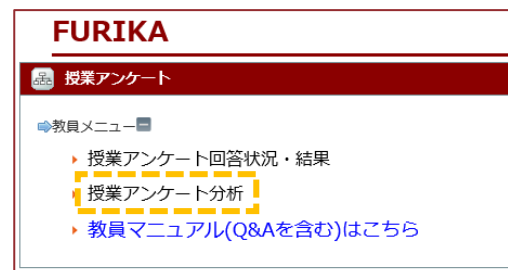
◆ 公開する記述内容の選択にあたっては、以下の点にご留意下さい。

1. 学生個人を特定できるような記述内容は選ばないで下さい。
2. 誤字、脱字、構文の乱れなどは訂正できません。
また、文章全体の一部のみを公開することもできません。すべて原文のまま公開されますので、その点も考慮して公開に資するものであるかどうかのご判断をお願いします。
3. いくつ選ぶかについての目安は特にございません。

(3) 公開設定の方法

◆ FURIKAへのログイン方法は、p.5をご参照ください。

- ① FURIKAの教員メニューから、「授業アンケート分析」を選択してください。



- ② 「担当科目一覧」から、該当の科目を選択の上、「学んだこと」ボタンをクリックしてください。

選択	科目コード	科目クラス名	曜日時限	回答率	回答	履修
<input checked="" type="radio"/>	7030000404-01	科目A	月・4時限	93	46	49
<input type="radio"/>	7030000404-02	〇〇概論	月・5時限	92	50	54
<input type="radio"/>	7030000420-01	演習C	金・3時限~4時限	90	36	40
<input type="radio"/>	7030000420-02	科目B	水・3時限~4時限	83	35	42

- ③ 公開する回答を全て選択(☑)し、最後に「確定」ボタンをクリックしてください。
(「確定」ボタンを押した後も、必要に応じて修正することが可能です。)



3 教員コメント入力方法

教員コメント機能は、担当教員がコメントを受講生に伝えることで、学生の授業に対する理解やさらなる学習を促すという趣旨に基づき設けたものです。ご記入いただいたコメントは、当該科目を受講し、FURIKA に回答した学生に公開します（不特定多数の学生に公開される訳ではありません）。当該科目を受講した学生が、授業の内容や受講姿勢を振り返ったり、自分自身の授業の見方、受け方を相対化したりするなど、今後の学習姿勢の改善につながるよう、ぜひ積極的な活用をお願いいたします。

(1) 入力時期

令和2年度後期および通年授業科目（集中講義科目含む）については、2月5日（金）～2月12日（金）となります。

(2) 入力していただきたい事項

◆ 先生方に入力していただきたい事項は主に以下の2点です。

① 成績評価を終えた時点での授業の総括

成績評価を終えた時点で、学生がどの程度学べていたのかに関して授業担当者としてお気づきになった点をご記入ください。

具体的には、多くの学生がきちんと理解できていたところ（できていなかったところ）を総括していただくことや、誤解が多かった点などに関する補足説明等を記入いただくことが想定されます。また、FURIKAにおける学生の自己評価や学習時間と、全体の成績評価結果を照らし合わせつつ、コメントを記入していただくことも考えられます。

② 学生の「学んだこと」へのリプライ

受講生によって入力された「学んだこと」をご覧いただき、それらについて全体的な応答をご記入ください。

※①と②のいずれか一方に関するコメントを行う、①と②の双方に関するコメントを行うなど、具体的な内容については、各授業担当者の裁量に委ねます。

(3) 入力における留意点

コメント入力にあたっては、以下の点にご留意ください。

1. 教員コメント機能の趣旨は、授業への理解や今後の学習を促すことにあります。本機能の趣旨に沿った記述をお願いいたします。
2. 学生個人を特定できるような内容や教育上望ましくない記述は避けてください。
3. ご自身の責任の範囲における記入をお願いいたします。なお、先生方が記入した内容については、学位（教育）プログラム責任者及び学部長（学部からの申請に基づきフィードバック情報の閲覧権限を付与した追加登録者を含む）が閲覧権限を有します。

(4) 入力方法

- ① FURIKA にログインし、教員メニューから、「授業アンケート分析」を選択してください。
- ② 「担当科目一覧」から、該当の科目を選択の上、「教員コメント入力」ボタンをクリックください。

担当科目一覧

実施時期 授業アンケート 年度 期 ▾ 一括PDF出力はこちら PDF

選択	科目コード	科目クラス名	曜日時限	回答率	回答	履修
<input checked="" type="radio"/>	7030000404-01	科目A	月・4時限	93	46	49
<input type="radio"/>	7030000404-02	〇〇概論	月・5時限	92	50	54
<input type="radio"/>	7030000420-01	演習C	金・3時限～4時限	90	36	40
<input type="radio"/>	7030000420-02	科目B	水・3時限～4時限	83	35	42

アンケート内容 集計結果 所属学部と到達度 成績と到達度 出席と到達度 GPAと到達度 学んだこと **教員コメント入力**

- ③ 四角枠内にコメントを **1000文字以内** で入力 (A) してください。入力が終わりましたら、「一時保存」ボタン (B) をクリックしたうえで、「登録完了」ボタン (C) をクリックしてください。

授業アンケート ○○○○年度 ○期 7030000404-01 科目A

学生の授業に対する理解やさらなる学習を促すために、以下の2点に関する学生へのコメントを記入してください。

①学生の自己評価や実際の成績などを踏まえた授業の総括
②学生が記入した「授業で学んだこと」に対する応答
※学生個人を特定できるような内容や教育上望ましくない記述は避けてください。

・コメント内容を一旦保存し、確認されたい場合は、『一時保存』ボタンを押してください。
・内容確認後、問題なければ『登録完了』ボタンを押して確定させてください。
『登録完了』ボタンを押すと、学生画面に公開されると共に、内容の編集ができなくなります。

A

【記入例】
多くの学生が、この授業で特に学んだこととして「グループワークの役割分担の重要性」をあげていました。グループでの話し合いや作業の際、しっかり目的や役割意識を持つておくことが、結果の質の向上につながります。実際、成績評価が高かったグループは、その点がしっかりできていました。
今後も、さまざまな授業・ゼミでグループワークを行う機会があるはずで、今回の授業で学んだことを、今後の授業・ゼミでも自主的に発揮していきましょう。

B << 一時保存 << 登録完了 << **C**

IV. フィードバックの活用方法と留意事項

1 はじめに

(1) フィードバックの概要

FURIKA は、先生方が担当された科目の受講生[※]が、何を、どこまで学んだのか、きめ細かく確認することができるように設計されています。受講生全体の学習状況はもとより、どういった層の学生が、どの程度学んでいたのか、授業の到達目標のうち、より学生が到達できたと判断したものはどれか、などさまざまな情報を確認することができます。

ご自身の授業の特性や狙いに沿って、FURIKA のフィードバック情報をご活用いただき、次学期以降の授業設計にお役立て下さい。

なお、FURIKA では、担当教員・学位（教育）プログラム責任者・学生個人それぞれに対応したフィードバックがなされます。本マニュアルは、担当教員に対するフィードバックについての説明となります。

※FURIKA における「受講生」とは、受講生のうち FURIKA に回答した学生のことを指します。

※FURIKA は「福岡大学 授業アンケート実施にかかる遵守事項」(p.16) に従って実施しています。

(2) フィードバック情報の取り扱いについて

- ◆ FURIKA が授業担当の先生方個人に提供するフィードバック情報は、学内への公開であれば、先生方ご自身の判断で公開することが可能です。
- ◆ 学外への公開については、学術目的での活用、教育改善目的での活用、自身の教育研究業績を示す資料としての活用、であれば認められていますが、学外へ公開される場合には、教育開発支援機構事務課までご相談ください。

2 フィードバック情報の閲覧方法

(1) フィードバック情報の表示方法

- ① FURIKA の教員メニューから、「授業アンケート分析」を選択してください。
- ② 「担当科目一覧」から、閲覧する科目を選択 (A) した上で、表示するメニューボタン (B) をクリックしてください。

選択	科目コード	科目クラス名	曜日時限	回答率	回答	履修
<input checked="" type="radio"/>	7030000404-01	科目A	月・4時限	93	46	49
<input type="radio"/>	7030000404-02	〇〇概論	月・5時限	92	50	54
<input type="radio"/>	7030000420-01	演習C	金・3時限～4時限	90	36	40
<input type="radio"/>	7030000420-02	科目B	水・3時限～4時限	83	35	42

アンケート内容 集計結果 所属学部と到達度 成績と到達度 出席と到達度 G P A と到達度 学んだこと 教員コメント入力

- ◆ ご自身が科目担当者（但し、オムニバス科目については科目代表者）である科目（集中講義を含む）の一覧が表示され、それぞれの科目について、回答率等をご確認いただけます。
- ◆ フィードバック情報は、「アンケート内容」、「集計結果」、「所属学部と到達度」、「成績と到達度」、「出席と到達度」、「G P A と到達度」、「学んだこと」「教員コメント入力」の8つのメニューから構成されています。

(2) 各メニューについて

※各メニューの活用方法の詳細については、FUポータル内「FURIKAに関するQ&A」にてご確認ください。

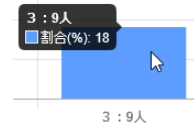
アンケート内容

アンケートのそれぞれの設問項目※（①出席状況、②学習時間、③到達度、④積極性、⑤理解度）の単純集計結果を表示しています。

※アンケートの設問項目については、p.2をご確認ください。

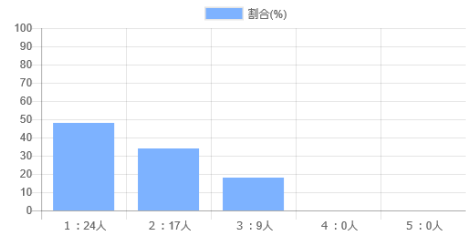
POINT

各メニューに表示されるグラフにカーソルを合わせると、詳細が表示されます。



①学習時間

一回の授業に対してどれくらい学習（予習復習、資料の収集・閲覧を含む）しましたか？授業前後に友人と内容について話したり、試験勉強や課題のレポートを書いた時間も含まれます。



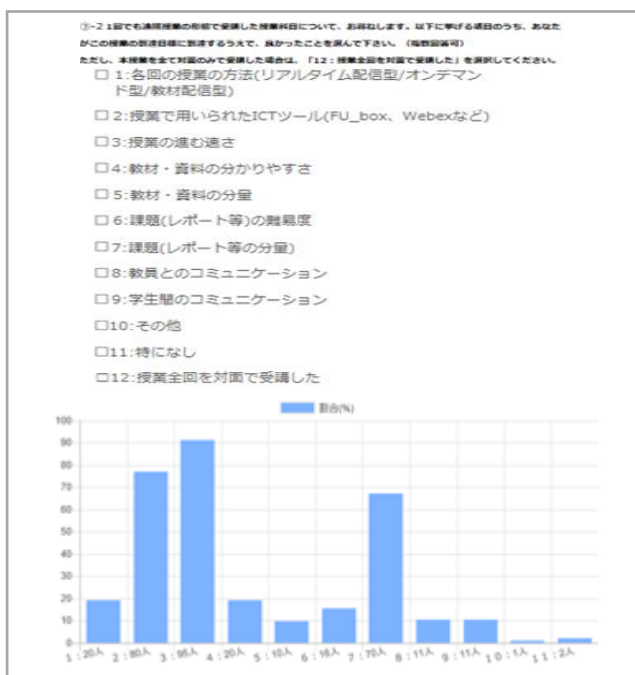
遠隔授業に対応した設問項目の結果について

NEW

③到達度では、例年であれば各授業の到達目標に到達しているかを問う項目のみで構成していますが、今年度については、各授業の到達目標に到達するうえで遠隔授業の進め方がどう影響しているかを「良かったこと」「改善が望まれること」の2つの観点から問う設問を追加しています。アンケート結果は「アンケート内容」画面に「良かったこと」「改善が望まれること」ともに下記のようなグラフで表示され、各項目の回答人数が確認できます。

③到達度

(※「10.その他」の項目は自由記述となっております、CSVで内容をダウンロードできます。)



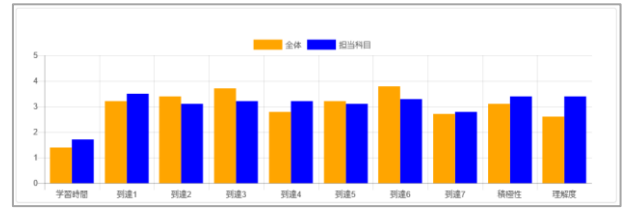
「10.その他」を選んだ方は内容を記述してください。

内容を入力

集計結果

アンケートのそれぞれの設問項目の集計結果（回答の平均値）を、全ての受講生ごと、男女別、学年別で表示しています。

なお、「全体」（オレンジ色）は対象科目が専門科目である場合にはその科目を含む全ての学科科目、共通教育科目である場合には全ての共通教育科目の平均となっています。

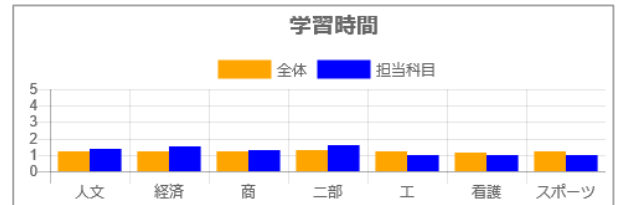


所属学部と到達度

※共通教育科目の場合のみ表示します。

アンケートのそれぞれの項目の集計結果を受講生の学部別で表示しています。

受講生全体の傾向だけでなく、所属学部ごとに極端な差が生じていないかどうか、について確認することができます。

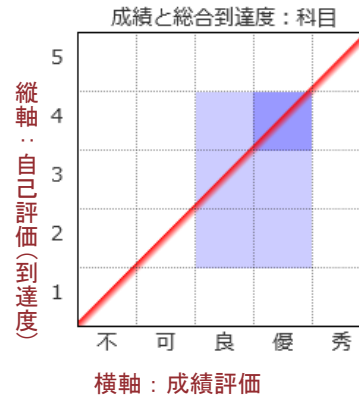


成績と到達度

「成績と到達度」のT図※では、教員による客観的な成績評価（横軸）と到達度に関する学生の主観的な自己評価（縦軸）がどういった関係にあるかを示しています。

受講生が自分自身の到達度をどう評価しているのか、また、その自己評価が成績評価に照らしてどの程度適切に行われているか、等について確認することができます。

※T図の説明については、p.14 をご参照ください。



出席と到達度

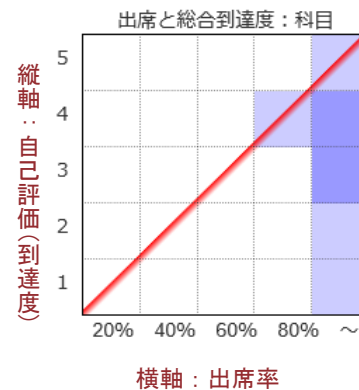
「出席と到達度」のT図では、学生の出席率（横軸）と到達度に関する学生の主観的な自己評価（縦軸）がどういった関係にあるかを示しています。

受講生の出席状況がパフォーマンス※にどう影響するか、等について確認することができます。

NEW

例年、出席率は、「出席調査用カードセンサー」のデータを基に算出しておりますが、2020年度は、設問項目に「出席状況」の項目を追加し、その回答を基に出席率を算出しております。

※パフォーマンスについては、FUポータル内「FURIKAに関するQ&A」をご参照ください。



GPAと到達度

「GPA と到達度」のT図では、学生のGPA（横軸）と到達度に関する学生の主観的な自己評価（縦軸）がどのような関係にあるかを示しています。

受講生の成績層の違いがパフォーマンスにどう影響するか、等について確認することができます。

学んだこと

設問項目6「この授業で特にあなたが学んだことは何でしょうか」についての回答結果が表示されます。

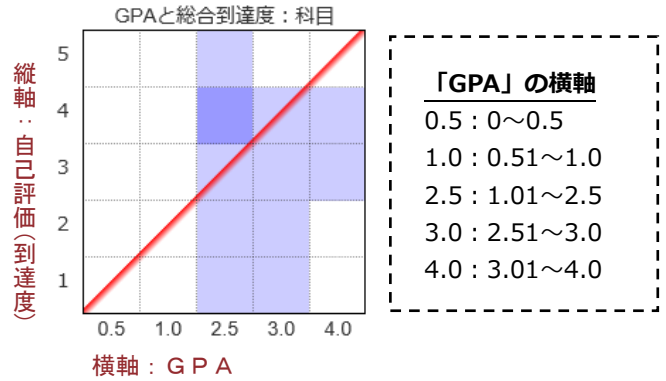
※学生の記述回答がない場合は、表示されません。

※この項目については、受講生へ公開する回答を選択する必要があります。選択方法については、p.7をご参照ください。

教員コメント入力

受講生へのコメントを入力する欄が表示されます。

※入力方法については、p.8をご参照ください。



全てチェック 全て解除

№	公開	記述内容
1	<input type="checkbox"/>	これから大学で学んでいくために必要な三つのポイントがよく理解できた。
2	<input type="checkbox"/>	コミュニケーションの難しさと面白さ
3	<input type="checkbox"/>	グループワークでどうすればいいのかがよく分かった。ただ、機会はとて難しく、まだまだ経験が必要だと感じた。
4	<input type="checkbox"/>	大学では自主性が大事だとされているが、実際に自主的に行動するのは難しい。自主的に行動するためには実は知識が必要だということに気づいた。自分のためになるともよい授業でした。
5	<input type="checkbox"/>	相手はどう考えるか、を考えて話すことが大事だということ。また、論理的に説明できる能力を身に付けることができた。
6	<input type="checkbox"/>	グループワークの進め方を学んだ。今後の大学生活に役立つことを学ぶことができて良かったです。
7	<input type="checkbox"/>	クリティカルシンキング。
8	<input type="checkbox"/>	グループワークの大事さ。

授業アンケート 2019年度 前期 7030000404-01 科目A

学生の授業に対する理解やさらなる学習を促すために、以下の2点に関する学生へのコメントを入力してください。

①学生の自己評価や実際の成績などを踏まえた授業の総評

②学生が記入した「授業で学んだこと」に対する回答

※学業記入を希望できるような内容や教員が望まない記述は避けてください。

コメント内容は、匿名で、確認されない場合は、「一括削除」ボタンを押してください。

内容確認後、確認が終われば「最終完了」ボタンを押して確定させてください。

「最終完了」ボタンを押すと、学生業績に公開されると共に、内容の編集ができなくなります。

T図について

「成績と到達度」「出席と到達度」「GPA と到達度」で示すグラフは、主に科目の到達目標への学生の到達状況を示す図で、FURIKA ではこの図を「T 図（到達図）」と呼びます。T 図は、横軸と縦軸のさまざまなデータの関係を表す散布図を抽象化したもので、本学で独自に開発したものです。

例えば、「成績と到達度」の T 図では、教員による客観的な成績評価（横軸）と到達度に関する学生の主観的な自己評価（縦軸）がどういった関係にあるかを示します。

なお、T 図についての詳細な説明は FU ポータル内「FURIKA に関する Q&A」にも記載しています。

T図の縦軸

T 図の縦軸には、以下の 6 つの種類があります（右図参照）。

- ①「総合到達度：科目」（色：ブルー）
※「総合到達度」は、当該科目の全ての到達目標に対する学生の自己評価を平均化（四捨五入して整数化）して算出しています。
- ②「総合到達度：全体」（色：オレンジ）
※その科目が含まれるカテゴリー（共通／専門）の全授業科目の結果の平均を示すもので、比較参照のために表示しています。
- ③「学習時間」
- ④「到達」※全ての到達目標について表示されます
- ⑤「積極性」
- ⑥「理解度」
※③～⑥は、各設問項目に対する学生の回答との関係を示しています。

表示色について

T 図の各マス目は、そこに占める学生数が多くなるにつれて段階的に色が濃くなっています。ただし、学生個人の特定を避けるため、学生数が 5 名に満たないマス目には色を表示せず、白色となっています。

※表示色サンプル



相関係数について

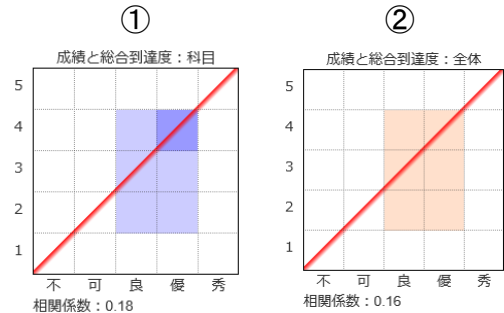
T 図の下に、相関係数を表示しています。相関係数は、相関関係の程度を示す指標です。数値は $-1 \sim +1$ の範囲となり、この数値が 2 つの変数の関連性の強さを把握する目安となります。

相関係数をどう解釈するか、には明確な基準はありませんが、一般的な目安としては、絶対値 0.2 未満では相関関係はない、0.2～0.4 では弱い相関、0.4～0.7 で中程度の相関、0.7 以上で強い相関がある、とされています。T 図においても同様の解釈ができるか、については、今後検討していく必要があります。

また、相関係数は全体の傾向から外れた回答（外れ値）の影響を受けやすいなどという特徴があり、T 図における相関係数を解釈する際には注意が必要です。

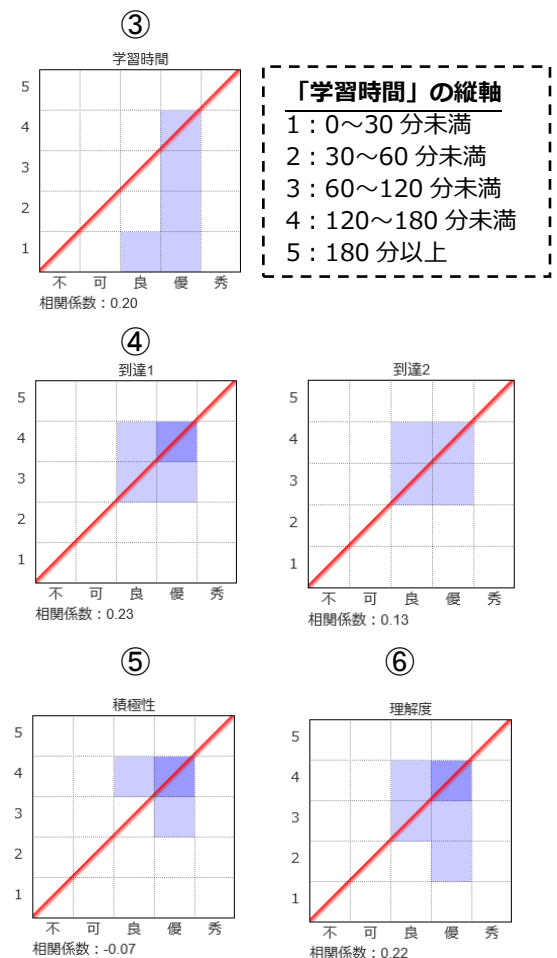
詳しくは、FU ポータル内「FURIKA に関する Q&A」をご参照ください。

T 図（成績と到達度）サンプル



総合到達度について

例えば、到達目標が 2 つある科目で、成績評価が「優」の学生が「到達目標 1 については自己評価が 3、到達目標 2 について自己評価が 5」と回答したとすると、総合到達度は 4 となり、その学生は「縦軸：4」と「横軸：優」のマス目に配置されます。



3 フィードバック情報のダウンロードについて

フィードバック情報は、学内であれば先生方ご自身の判断で公開することが認められていますので、必要に応じて教員間で共有する等してご活用いただけます。回答結果の生データをダウンロードすることはできませんが、FURIKAに表示されているグラフについては、PDFファイルとして出力することが可能です。出力方法は以下の通りです。

〈全ての項目の集計結果を一括で出力する場合〉

「担当科目一覧」から、閲覧する科目を選択 (A) した上で、画面右上「PDF ボタン」(B) をクリックしてください。

担当科目一覧

実施時期 授業アンケート 2020 年度 前期

一括PDF出力はこちら PDF

選択	科目コード	科目クラス名	曜日時間	回答率	回答	履修
<input checked="" type="radio"/>	7030000404-01	科目A	月・4 時限	93	46	49
<input type="radio"/>	7030000404-02	〇〇概論	月・5 時限	92	50	54
<input type="radio"/>	7030000420-01	演習C	金・3 時限～4 時限	90	36	40
<input type="radio"/>	7030000420-02	科目B	水・3 時限～4 時限	83	35	42

アンケート内容 集計結果 所属学部と到達度 成績と到達度 出席と到達度 GPAと到達度 学んだこと 教員コメント入力

〈各項目の集計結果のみを出力する場合〉

- ① 上記の「担当科目一覧」から、閲覧する科目を選択 (A) した上で、表示するメニューボタン (C) をクリックしてください。
- ② 各メニュー内、画面右上「PDF ボタン」(D) をクリックしてください。

担当科目一覧 / 出席と到達度

授業アンケート 2020 年度 前期 7030000404_01 科目A

PDF出力はこちら PDF

「出席と到達度」のT図では、学生の出席率と到達度に関する学生の主観的な自己評価（縦軸）がどういった関係にあるかを示しています。T図自体の説明については「成績と到達度」の記述をご参照ください。

出席率は、各教室（一部の実験・実習室を除く）に設置されている「出席調査用カードセンサー」およびFURIOポータル上の「教育・研究」のメニューである「出席管理」のシステム（出席調査用カードセンサーと連動）を基に算出しています。そのため、上記システム以外で出欠管理を行っている場合（先生ご自身が出席管理をされている場合など）においては、出席率を算出することができず、T図を表示することができません。ただし、次学期以降については、先生がご自身で上記システムに出席情報を入力されることで、「出席と到達度」のT図を正しく表示させることも可能です。相関係数については、全てのデータが等しい場合は、計算できません(空白で表示されます)。

出席と総合到達度：科目 このT図は、その授業科目の全ての到達目標への総合的な到達度に関する回答と、学生の出席率の関係を示すものです。「総合到達度」は、当該授業科目の全ての到達目標への総合的な到達度を表しています。

出席と総合到達度：全体 このT図（オレンジ色）は、その授業科目が含まれるカテゴリー（共通/専門）の全授業科目の出席率と総合到達度の関係を示すもので、比較参照のために表示しています。

例:「出席と到達度」の画面

〈「学んだこと」を出力する場合〉

公開する回答のみを出力する場合は (F) の「PDF ボタン」、全コメントを出力する場合は (G) の「PDF ボタン」をクリックしてください。

担当科目一覧 / 学んだこと

授業アンケート 2020 年度 前期 7030000404_01 科目A

「公開」にチェックを入れた記述内容は、この授業の受講生のうち、「学んだこと」を回答した学生にのみ公開されます（不特定多数の全学生に公開される訳ではありません）。この授業を受講した学生が、授業の内容や受講姿勢を振り返ったり、自分自身の授業の見方、受け方を相対化したりするなど、今後の学習姿勢の改善に向けた参考につながるかと判断できるものがございましたら、ぜひ積極的な公開をお願いいたします。なお、公開する記述内容の選択にあたっては、以下の点にご注意下さい。

- ・ 学生個人を特定できてしまう可能性のある記述内容は選ばないで下さい。
- ・ 誤字、脱字、構文の乱れなどは訂正できません。また、文章全体の一部のみを公開することもできません。
- ・ すべて原文のまま公開されますので、その点まで考慮して公開に賛するものであるかどうかのご判断をお願いします。
- ・ いくつ選ぶかについての目安は特にございません。

全てチェック 全て解除

のみPDF出力 PDF 全コメントPDF出力 PDF

No	公開	記述内容
1	<input type="checkbox"/>	ASゼミにおいて、読み書きの大切さを改めて感じた。
2	<input type="checkbox"/>	communication
3	<input checked="" type="checkbox"/>	この授業においてグループワークの大切さ、またグループにおける一人一人の役割の重要性がよく分かりました。

注)
全ての項目を一括にまとめた PDF ファイルでは「学んだこと」は「公開」を選択した記述のみを含むものになります。

4 授業アンケート実施に係る遵守事項

平成 30 年 4 月 27 日

教育開発支援機構運営委員会了承

福岡大学 授業アンケート実施に係る遵守事項

授業アンケートに関わる教職員は、以下の項目を遵守しなければならない。

1. 学生への不当な処遇の禁止
 - (1) 授業アンケートを実施したことによって得られた情報をもとに、学生に対して不当な処遇や対応を行ってはならない。
2. 学生に不当な圧力をかける可能性のある調査項目の追加および分析結果の公表の禁止
 - (1) アンケート調査項目の設計において学生に不当な圧力をかける可能性のある項目を加えてはならない。
 - (2) 学生に不当な圧力をかける可能性のある分析結果を公表してはならない。
3. 授業アンケートのフィードバックに係る情報の取り扱い
 - (1) 教員個人を特定しうる情報を学内外に公開する場合には、本人の同意を要する。ただし、教員個人を特定しうる情報であっても、情報共有を目的とした学部ないし学位（教育）プログラム内の情報公開の可否については、学部ないし各学位（教育）プログラムでそれぞれ定める。
 - (2) (1)を含め、授業アンケートのフィードバックに係る情報の取扱要領は別に定める。
4. 教員への不当な処遇の禁止

授業アンケートを実施したことによって得られた情報をもとに、教員に対して不当な処遇や対応を行ってはならない。

〈参 考〉

学生メニュー画面イメージ

1 回答画面

① 「FURIKA」を選択すると、学生メニューが表示されます。

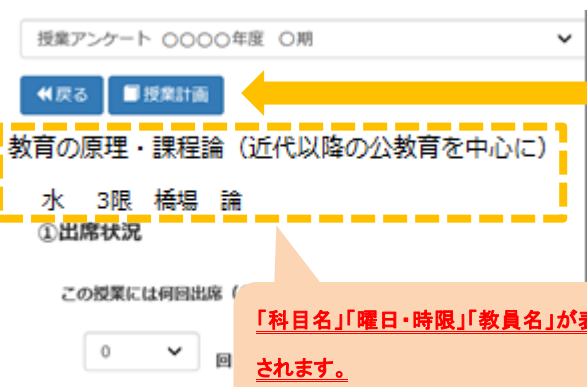


② 「回答する」を選択すると、履修している授業科目の一覧が表示されます。

※前期実施期間中は前期授業科目（集中講義を含む）が、後期実施期間中は後期および通年授業科目（集中講義を含む）が表示されます。



③ 当該科目名横の「回答」ボタン（ 回答）を選択すると、当該科目の回答画面が表示されます。



「科目名」「曜日・時限」「教員名」が表示されます。

シラバスに記載の「授業計画」が表示されます。

教育の原理・課程論 (近代以降の公...

水曜日 3限 橋場 論

授業計画

- 1回目 ガイダンス
- 2回目 教育とは何か：教育の本質と意義
- 3回目 近代国家の成立と公教育の展開(教育の…
- 4回目 近代国家の成立と公教育の展開(教育の…
- 5回目 教育の歴史的展開と教育思想(公教育を…
- 6回目 公教育を巡る現代的課題(アーミッシュ…
- 7回目 公教育を巡る現代的課題(教師の役割に…
- 8回目 中間まとめ
- 9回目 教育課程構成と学習指導要領
- 10回目 教育課程構成に関する原理
- 11回目 学習指導要領の歴史的変遷
- 12回目 学力低下論争と教育課程
- 13回目 新たな学習観と教育課程
- 14回目 カリキュラム・マネジメント
- 15回目 全体まとめ

◀ 戻る

<回答画面の各設問項目>

①出席状況

この授業には何回出席(参加)しましたか？

※出席(参加)回数が明確にカウントできない場合には、授業何回分の出席に相当するかをおおよその判断で回答してください。

0 回

②学習時間

一回の授業に対してどれくらい学習(予習復習、資料の収集・閲覧を含む)しましたか？授業前後に友人と内容について話したり、試験勉強や課題のレポートを書いた時間も含まれます。

0 分

③到達度

③-1 この授業のシラバスには、以下の到達目標が設定されています。あなたはこの授業をうけて、各到達目標にどの程度到達できたと思いますか？

1) 近代以降に公教育が発展した背景について、国民国家の成立という観点から、説明することができる。(知識・理解)

- 1:全くできなかった
- 2:あまりできなかった
- 3:どちらともいえない
- 4:ややできた
- 5:充分にできた

③-2 1回でも遠隔授業の形態で受講した授業科目について、お尋ねします。以下に挙げる項目のうち、あなたがこの授業の到達目標に到達するうえで、改善が望まれることを選んで下さい。(複数回答可)

ただし、本授業を全て対面のみで受講した場合は、「12: 授業全回を対面で受講した」を選択してください。

- 1:各回の授業の方法(リアルタイム配信型/オンデマンド型/教材配信型)
- 2:授業で用いられたICTツール(FU_box、Webexなど)
- 3:授業の進む速さ
- 4:教材・資料の分かりやすさ
- 5:教材・資料の分量
- 6:課題(レポート等)の難易度
- 7:課題(レポート等の分量)
- 8:教員とのコミュニケーション
- 9:学生間のコミュニケーション
- 10:その他
- 11:特になし
- 12:授業全回を対面で受講した

「10.その他」を選んだ方は内容を記述してください。

③-3 1回でも遠隔授業の形態で受講した授業科目について、お尋ねします。以下に挙げる項目のうち、あなたがこの授業の到達目標に到達するうえで、改善が望まれることを選んで下さい。(複数回答可)

ただし、本授業を全て対面のみで受講した場合は、「12: 授業全回を対面 で受講した」を選択してください。

- 1:遠隔授業の方法 (リアルタイム配信型/オンデマンド型/教材配信型)
- 2:授業で用いられたICTツール (FU_box、Webexなど)
- 3:授業の進む速さ
- 4:教材・資料の分かりやすさ
- 5:教材・資料の分量
- 7:課題 (レポート等) の難易度
- 8:課題 (レポート等) の分量
- 9:教員とのコミュニケーション
- 10:学生間のコミュニケーション
- 11:その他
- 12:授業全回を対面で受講した

「10.その他」を選んだ方は内容を記述してください。

④積極性

この授業に対してどの程度主体的・積極的に取り組むことができましたか？(前向きな姿勢での出席、予習復習、課題の提出、授業での発言、グループワークでの活動への参加、等)

- 1:全くできなかった
- 2:あまりできなかった
- 3:どちらともいえない
- 4:ややできた
- 5:充分にできた

⑤理解度

この授業の内容はどの程度理解できましたか？

- 1:全くできなかった
- 2:あまりできなかった
- 3:どちらともいえない
- 4:ややできた
- 5:充分にできた

⑥学んだこと

この授業で特にあなたが学んだことは何でしょうか。

④「登録」ボタンを押して、終了です。(一度、「登録」を完了すると、後で回答を修正することはできません。)

2 フィードバック画面

学生へのフィードバックの概要について

学生に対しては、学生個別に集計し、回答者本人に対してフィードバック情報を提供いたします（学生用マニュアルはFUポータルに掲載予定）。学習内容の振り返りや自己評価の能力は、自律的な学習の基盤です。FURIKAでは学生へのフィードバックを通じて、これらの能力の向上をはかっています。フィードバック情報を用いて、例えば「その授業で何を学んだか」の自己評価を、他の学生の自己評価や教員からの客観的な評価と比較すること等によって、より適切に自身の学習状況や傾向、特徴などを把握できるようになってもらいたい、と考えています。

なお、システムの仕様上、教員が学生用画面を閲覧することはできないため、以下のとおり画面サンプルをお示しします（実際の画面と異なる場合がございます）。

学生のフィードバック情報の種類

学生のフィードバック情報は、主に「科目別の情報」「自分の特性」に分けられます。

科目別の情報

以下5つのメニューから構成され、主に当該科目に関する回答結果を表示します。

① 「アンケート内容」

…自分自身の回答を表示します。

② 「全体との比較」

…受講生全体（それぞれの設問項目の回答平均）と自分自身の回答の比較を表示します。

③ 「学んだこと」

…自分自身の回答および他の受講生の回答を表示します（ただし、担当教員が公開設定を行った回答記述のみ表示します）。

④ 「成績との関係」

…教員による成績評価（横軸）と各設問項目に対する学生の自己評価（縦軸）がどういった関係にあるかを示すT図に、自分自身の位置を★で表示します。

⑤ 「教員コメント」

…授業の総括や学生が回答した「学んだこと」に対するレスポンスなど、教員からのコメントを表示します。

学生メニュー画面サンプル

The screenshot shows a menu with two tabs: "科目別の情報" (Subject Information) and "自分の特性" (Personal Characteristics). Under "科目別の情報", there is a section for "授業アンケート 〇〇〇年度 〇期" (Class Survey). Below this, there is a table with columns for "選択科目" (Selected Subject), "成績" (Grade), and "教員コメント" (Teacher Comment). The table lists two subjects: "海運と航空" (Maritime and Aviation) with a grade of "D" and a comment icon, and "マーケティング戦略論" (Marketing Strategy) with a grade of "B" and a comment icon.

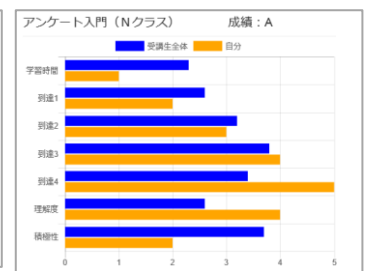
教員コメントが公開されると
●が表示されます

①

②

This section contains two parts: "①学習時間" (Learning Time) and "②到達度" (Attendance). The "学習時間" part asks if the student has reviewed or collected materials and includes a "60分" (60 minutes) indicator. The "到達度" part lists learning objectives and asks if the student has reached them. A red message at the bottom says "あまりできなかった" (I couldn't do much).

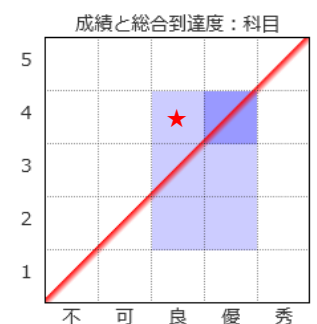
③



④

This section is titled "アンケート入門 (Nクラス) 成績: A". It has two sub-sections: "■自分が学んだこと" (What I learned) and "■他の学生が学んだこと" (What other students learned). The "自分が学んだこと" part contains a text box with the student's response: "アンケートの意義は概ね理解できたが、簡潔なアンケート項目の作成は難しく感じた。" (I generally understood the significance of the survey, but creating concise survey items was difficult). The "他の学生が学んだこと" part shows a list of other students' responses.

⑤



This section is titled "教員コメント" (Teacher Comments). It shows a list of comments from teachers. The first comment is for "フレッシュマン・イングリッシュⅢ" (Freshman English III) with a grade of "B". Below it, there is a section for "アンケート入門 (Nクラス) 成績: A" with a list of student responses.

自分の特性

以下4つのメニューから構成され、主にディプロマ・ポリシー（以下、DP）に関するデータを表示します。

⑥ 「ポリシー」

…自分自身が専攻しているプログラムのDPを表示します。

⑦ 「全体との比較」

…同じプログラムを専攻する学生（同学年）との回答結果の比較を表示します。

⑧ 「成績との関係」

…教員による成績評価（横軸）とDPが求める能力に対する学生の自己評価（縦軸）がどういった関係にあるかを示すT図に、自分自身の位置を★で表示します。

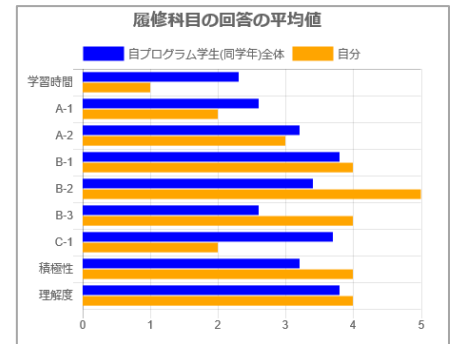
⑨ 「DPへの到達度」

…DPが示すそれぞれの能力に対する到達度の累積を表示します。

⑥

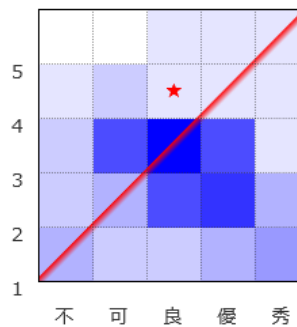
○○学 ディプロマ・ポリシー	
A	【知識・理解】
A-1
A-2
A-3
B	【技能】
B-1
B-2
B-3
C	【態度・志向性】
C-1
C-2
C-3

⑦

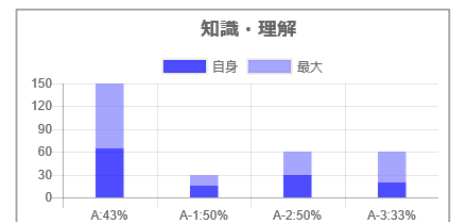


⑧

A-1



⑨





Fukuoka University self-Reflection Index of Knowledge, Abilities and Attitudes

福岡大学では、全学統一のWebによる授業アンケート「FURIKA（フリカ）」を実施しています。

FURIKAとは、“Fukuoka University self-Reflection Index of Knowledge, Abilities, and Attitudes”の頭文字で、学生のみさんの学習の振り返り（FURIKAえり）に活用してもらいたい、という願いからこの名称が付けられています。

FURIKAは、ゼミや実習を含む全ての授業で実施しています。履修している全ての科目について、みなさんが何をどれだけ学んだかについてぜひ回答して下さい。

みなさん自身の学習状況を教えてください



自分自身が何をどれだけ学んだかについて、今期受講した科目毎に振り返り、率直に回答してください。自身の成長には“適切な”自己評価が欠かせません。過度な謙遜で自己を低く評価することなく、FURIKAを通じて冷静に自身の成果と課題を見極め、次の一歩につなげていってください。

FURIKAは、みなさんの個人情報を守ります

みなさんの回答データは本学の教育をよりよくするために活用されますが、ログイン時の学籍情報は暗号化されます。担当教員を含めた関係者が回答学生を特定することはできず成績評価への影響も一切ありません。また、回答によって、みなさんが不利になることはありません。

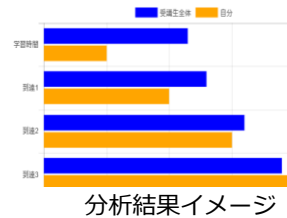


FURIKAでの回答は、みなさん自身のメリットになります



みなさんがFURIKAで回答した科目については、成績確定後にその分析結果（例えば、自分の学びの傾向や他の学生全体との比較、など）を閲覧することができるようになります。全ての科目でしっかりと回答することを心がけてください。

分析結果公開は4年次生等が2月13日、在学生が3月16日です！
回答しないとFURIKAえれないよ！



回答方法の詳細は前期マニュアル動画も参考になります！チェックしてみてください！



実施期間

令和2年12月1日(火)～令和3年1月31日(日) に実施します。

- ◆ 実施期間中はいつでも回答できますが、授業担当教員から回答のタイミングについて指示がある場合は、その指示に従ってください。

アクセス・ログイン方法

FUポータルにログイン

福岡大学FUポータルにアクセスし、福大ID（認証基盤）のアカウントでログインしてください。

<http://portal.fukuoka-u.ac.jp>



「FURIKA」を選択

上部メニュー右端にある緑色のボタン「FURIKA」を選択してください。



「回答する」を選択

FURIKAメニューが表示されるので「回答する」を選択してください



- ◆ FUポータルへのログインは、「**ヤフーアプリ**」からは行わないでください（セキュリティ設定の関係上、FURIKAにアクセスできません）。推奨ブラウザアプリ（ブラウザ、Safari、Google Chromeなど）からログインしてください。

アンケートの回答方法

1. 履修している科目名一覧が表示されますので、アンケートに回答する科目の **👉 回答** を選択してください。

選択した科目の、**科目名・曜日時限・教員名**が表示されるので、**確認**してください。
選択した科目が間違っていた場合、「戻る」ボタンで科目一覧に戻ることができます。

2. 各設問に回答してください。

遠隔授業実施に伴う新しい設問です！

NEW

①出席状況

「この授業には何回参加しましたか？」

※出席（参加）回数が明確にカウントできない場合（教材配信型授業など）には、**授業何回分の出席に相当するのをおおよその判断**で回答してください。

※ここでの回答が成績評価に影響することはありません。

遠隔授業実施に伴う新しい設問です！

NEW

③到達度 (③-2, ③-3)

「あなたがこの授業の到達目標に到達するうえで、**良かったこと** (③-2)、**改善が望まれること** (③-3) を選んでください。」（複数回答可）

※1回でも遠隔授業の形態で受講した授業科目について、お答えください。ただし、授業を全て対面のみで受講した場合は、「12：授業全回を対面で受講した」を選択してください。

※今後、遠隔授業が続いた場合、ここでの回答が今後の授業運営の参考にされます。

この科目を通じて学んだこと、得たこと、身につけたことについて記述してください。

なお、他の受講生の参考になるなど、担当教員が優れた内容だと評価した記述は、担当教員が公開できるようになっています。他の受講生の学習意欲を促すためにも、ぜひ積極的に記述してください。

（FURIKAに回答しなかった場合、公開された他の受講生の記述内容を閲覧することはできません。）

3. 最後に内容を確認し、**👉 登録** を押して終了です（一時保存はできません）。

◆ **一度「登録」を完了すると、後で回答を修正することはできません。**「科目名」が間違っていないか、回答に誤りがないか、などを確認の上、登録ボタンを押してください。

FURIKA

に関するお問い合わせ先：教育開発支援機構事務課（A棟地下1階）



furika@ml.fukuoka-u.ac.jp

授業アンケート FURIKA に関するお問い合わせ先

教育開発支援機構事務課（A棟地下1階）

E-mail : furika@ml.fukuoka-u.ac.jp 内線 : 2852・2853